

カミ優待でお得にバス移動 実証実験が1ヶ月

4月1日、持続可能な公共交通を将来に残すため、バス利用者増加を目的とした実証実験が開始されました。

これは小砂子線と江差木古内線において、この実証実験で発行されるICカード優待券を利用すると、町内区間が1乗車あたり100円となるもので、実験の期間は2022年3月31日までの2年間となっており、上ノ国町内と江差ターミナルまでの区間が、乗降地点のどちらかが上ノ国町内であることで適用されます。

実証実験開始から1ヶ月で、すでに100名を超える多くの方が申請しています。町内に住所があることが確認できれば、即日カードが発行され利用可能となりますので、是非ご利用ください。



町内小中高新入学生を激励 石屋製菓が「白い恋人」贈呈

石屋製菓（札幌市）は道内の小中高の新入学生に主力商品「白い恋人」を贈呈しました。

これは、新型コロナウイルスの感染拡大が続く不安な気持ちで入学する子どもたちを勇気づけたいと行われたもので、全道の各市町村を通じて、新入学生に届けられることとなっており、本町では、4月8日及び9日に町教育委員会を通じて各小中学校に配られ、児童生徒に届けられました。

河北小学校新入学生の久末瑛斗くん（字中須田）は、「学校に行くのを楽しみにしていたので、これでよかった。お菓子を食べて、元気にバスケを頑張りたい」と、新たなステージでの前向きな目標を語っていました。



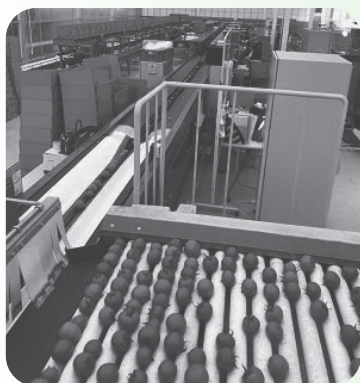
（株）寅福、高リコピントマトの出荷開始

本年1月から稼働をはじめた（株）寅福のトマト工場（北村地区）で、3月下旬から出荷が開始されています。

高リコピントマトを栽培する（株）寅福の加藤夢人社長によると、5月から7月には出荷のピークを迎え、年間約1,000tの生産量を見込んでいるとのことでした。主な取引先はカゴメ（株）ですが、道内のスーパーなどにも出荷されています。

この工場の特徴は、太陽光や温泉水の再生エネルギーを活用しているほか、日本最先端技術を導入したハウスでの新しい農業ですが、従業員に多くの外国人を採用しているのも特徴で、28名のうち半数以上が正社員とのことです。

今後も、農産物のブランド化や加工品の生産などにも期待しています。



春の交通安全運動 マスク着用で初登校

4月6日（15日の10日間、「子供を始めとする歩行者の安全の確保」を第一の重点項目に掲げた、春の交通安全運動が実施されました。

新年度になり、小学生の歩行中の交通事故が増加する傾向にあることから、本町においても、登校時に、交通安全指導員や地域の方々が子どもたちを見守りました。

4月6日の初登校日、上ノ国小学校前では、新型コロナウイルスの影響から車で送迎される児童も多く、児童の姿はまばらでしたが、マスク姿の児童は、見守る地域の方々と挨拶を交わし、例年通り、元気に登校していききました。

